町民と議会をつなぐコミュニケーション誌

はなわ 議会だより

2025
No.169

発行／福島県塙町議会
令和７年1月24日

いらっしゃいませ～！

お店ごっこ　（笹原幼小交流）

12月定例会

議会報告会・意見交換会を開催　…Ｐ２～３
庁舎建設第Ⅱ期工事契約などを可決…Ｐ４～６
町政を問う（一般質問）……Ｐ７～16
追跡レポート……Ｐ17

塙町議会ホームページ
ＱＲ

塙町議会フェイスブック
ＱＲ

塙町議会Ｘ
（旧ツイッター）
ＱＲ

笹原地区公民館で開催！

議会報告会・意見交換会

町民への情報提供や活動報告のほか、地域の課題を把握するため、町民と議員が自由に意見や情報を交換する議会報告会・意見交換会を令和６年10月31日（木）、笹原地区公民館で開催し、下重義人副議長が進行役となり意見交換が行われました。テーマは　①少子化対策について　②ほかどんなことでも幅広い視点から意見や要望が出されました。今後、この内容をよりよい町づくりのための議会活動に反映させていきます。

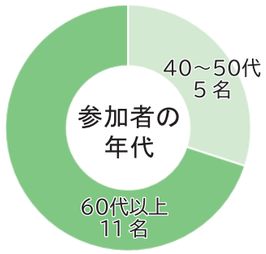
活発な意見交換が行われました

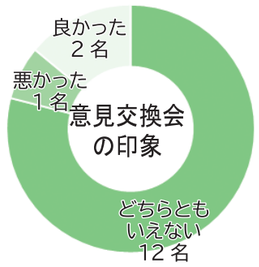
※議会報告会・塙町議会基本条例第６条において、毎年行うものと規定しています。

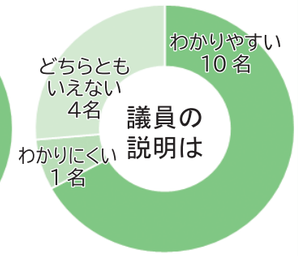
参加者データ

男性 13名

女性 3名







●要望や感想など（自由記載）

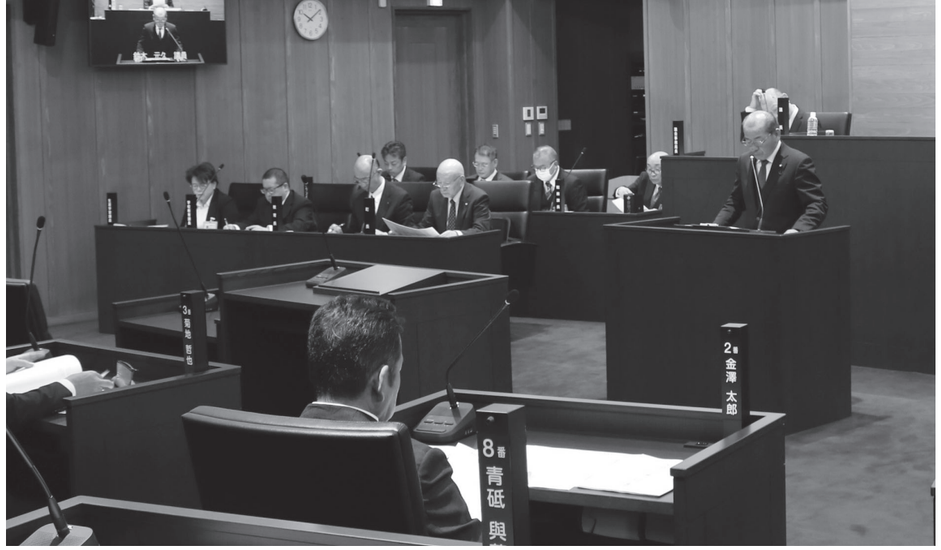
- 近い席で聞くことができ良かったです。身近な意見もあり、大事な交換会と思います。これからも頑張ってください。
- 今後、道路実状に沿ってよくしてほしいです。１級河川の中州を取り除いてほしい。大雨のときは、小屋に水が入るのでよろしくお願いします。
- 少子化対策の件ですが、一番に企業を誘致すれば人口も多くなり、結婚も多くなるかな？
- 若者の可処分所得の低さが少子化の原因。サザエさんのような家庭が理想。そうなると国政の問題なので。

事項	参加者からの意見	議会からの返答
①少子化対策について	少子化対策について、議員それぞれの意見を聞きたい。	・若者や独身者の結婚の願望がない。 ・大学まで行くと、仕事場がないこともあり町に帰ってこない。企業誘致が必要である。 ・社会的に結婚が幸せの目的ではなくなっている。 ・出生数の減少を食い止めるには、まず出会いの場をつくる。世話好きな仲人をつくり、結婚支援の充実が必要。 ・子育て支援は郡内では塙町が一番充実している。移住定住支援策に力を入れるべき。 ・町に残る若い世代を大切にする施策提言が必要。 ・塙町に住みたい環境と支援を大事に。 ・町では、こども園や「はなまるはうす」などの子育て環境の充実を進めている。塙町で子どもを産んで、健全に安心して育てられる環境づくりや住宅団地の造成が最大の力になる。また、若い世代の移住定住を積極的に受け入れる体制整備が必要だと考える。これらをさらに進めるのは、社会環境や国の政策が重要になってくる。
②ほかどんなことでも	一級河川・川上川の道路の崩れと河川の中の葦（ヨシ）が繁殖しているので、河川の土砂の撤去をお願いしたい。	道路は砂利敷きではなく、アスファルト合材にした方がよい。河川の土砂は県の管理で、水面から下は撤去しない工法になっている。引き続き町に提言していく。
	公民館地区館・集会所の災害時避難所機能を重視し、冷暖房の設置を望む。	町では各地区の投票所になっているところから順次設置していく予定になっている。
	障害者の就学施設は石川町にあるが、町内においても廃校を利用した支援学校はできないものか。	町教育委員会において、石川支援学校の東白川郡内での分校設置を要望しているが、まだ決定には至っていない。
	都会でのいじめや登校拒否の子どもたちを里親として受け入れ、若年人口が増えてる地域があると聞いている。議員研修ではそのような箇所へ行かないのか。	これまでいじめを対象にした施設の視察へ行ったことはない。川谷小学校（西郷村）、田人小学校（いわき市）は小規模特認校として運営しており、高野小学校（棚倉）が不登校児受け入れに向け動き出している。 塙町においては、小規模特認校を検討していると聞いている。課題について、十分に検討する必要がある。
	湯遊ランドはなわについて、大広間で飲食ができず、レストランも休みのときがありくつろぎの場になっていない。どのような対策や対応を考えているのか。	働き方改革で人員が足りていない状況であり、募集の協力を依頼されている。指定管理の期間が５年から３年となった。議会において、特別委員会を設置したところであり、意見をまとめ町へ政策提言をしていく。
	従業員募集は町民に行き渡っているか。広報はなわやＩＰ告知などで周知しているのか。また、接客態度の改善を望みたい。	募集方法や接客対応は支配人に確認し対応する。
	タクシー券、デマンド交通はどのようになっているのか。	令和７年度から高齢者外出支援のタクシー券は1.5倍になる予定。現在、田代地区において軽自動車によるデマンド交通のテスト運行をしている。ライドシェアなどを今後検討していく予定。

可決

役場庁舎建設第Ⅱ期工事請負契約 契約金額2億5850万円

このほか一般会計3918万円を増額補正



12月 定例会のあらまし

12月定例会は12月12日(木)から16日(月)までの会期で開催し、条例3件、契約締結1件、補正予算5件が提出されました。一般質問では9名の議員が登壇し、さまざまな課題等を取り上げ、町政について質しました。

最終日には、条例2件が追加議案として提出され、全議案とも原案どおり可決となりました。

一般会計補正予算

【主な内容】

・印刷製本費（広報はなわ）　82万円

新庁舎建設関連や流灯花火大会など写真で伝える内容が増えたことと、水郡線全線開通90周年に当たり、12月号を特集号として掲載した。また、今後も紙面が増えることが見込まれるため。

・奥久慈木材流通センター貯木場維持工事測量設計業務委託料　150万円

町有地である法面（のりめん）が崩れていることと、調整池が土砂で満杯になっているため、維持工事測量設計業務委託料を計上するもの。

・防犯灯設置工事費　32万円

・防犯灯改修工事費　86万円

各行政区から陳情のあった防犯灯設置等に係る費用。

・住基ネットシステム機器等購入費　△1455万円

住基ネット関連機器の更新に係るものであるが、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）の示すスペックや仕様等が確定し、それに伴い機器本体をはじめ、導入調整費等が全体的に安価になったため。

・障害福祉サービス給付事業費　1784万円

主に共同生活援助および就労継続支援利用者の増と報酬改定によるもの。

・備品購入費（こども園保育部）　37万円

児童福祉法の一部改正に伴い、保育所等においても性被害防止、プライバシー保護が必要となったため、対策としてオムツ交換等に使用するパーテーションの購入費。

・子ども基金積立金　102万円

子どもたちのためにという寄付があったことから、基金へ積み立てをする。

・新型コロナワクチン接種委託料　830万円

国の公費負担分が1人当たり8300円で確定したため、町の予算にあわせて1000人分を増額するもの。

・福島牛次世代型技術実証事業補助金　300万円

繁殖用メス牛の購入補助を行うもの。

・北五郎地内農道補修工事費　500万円

・大町地内水路布設工事費　500万円

・天神地内水路布設工事費　500万円

・日林地内水路布設工事費　800万円

・上渋井地内水路布設工事費　1100万円

各行政区から陳情等により要望のあった改良工事を行うもの。比較的規模が大きい工事を緊急自然災害防止対策事業債で実施する。

・林道維持補修工事費　500万円

地域の方から林道の路肩崩落等の連絡があり補修工事を行うもので、5カ所予定。

・食物アレルギー等補助金　7万円

補助金交付要綱に基づき、該当となる児童・生徒の補助見込み分として増額。

質疑（条例）

審議結果一覧No.1

Q 人事院勧告はどのようにしてくるものなのか。

A（総務課）公務員の労働基本権制約の代償措置として人事院勧告がある。県の場合、人事委員会による勧告となる。県内の企業等の状況を調査して、勧告を行っている。当町ではこれまで、マイナス勧告もプラス勧告も受け入れてきた。

審議結果一覧No.3

Q 市町村こども計画の策定について、国からの指針に準じるとは思うが、どのような策定になるのか。

A（学校教育課）もともとは、子ども・子育て支援計画が現在第2期で今年度までであり、第3期の計画をつくる予定であったが、国からの通達により、子育てに関する計画をまとめる形でこども計画を策定することになった。昨年度、保護者や子どもに対してアンケートを行った。それを基にし、国の大綱を参考にしながら策定中である。

Q 町独自の内容は入るのか。

A（学校教育課）子ども・子育て会議で内容を審議しながら策定をするが、アンケートの内容を独自に盛り込む予定。

質疑（契約）

審議結果一覧No.4

Q 来庁者の駐車場について、台数確保は十分か。

A（まち整備課）85台確保する。

Q 職員の駐車場は。

A（まち整備課）役場西側の砂利駐車場を利用するが、台数によっては、B&G海洋センターおよび旧亀宗に駐車することになる。

Q 建設する付属棟の西側にスペースがある理由は。

A（まち整備課）荷物の搬入・搬出等の際にスペースがあった方がよいという検討結果による。

Q 現在、正面入口のほかに南側の入口も開放しているが、工事完了後は。

A（まち整備課）南側の入口は閉め、進入路は正面入口のみにする。

質疑（補正予算）

審議結果一覧No.5

Q 学校給食の賄材料費について、今回補正予算が計上されていない。各食材かなり高騰しているが。

A（学校教育課）残予算と今までの経過、今後の見込額等を調査したところ、現有予算で対応可能と判断し補正予算を計上していない。

Q 土地売払収入が計上されてあるが、その内容。

A（まち整備課）県道高萩塙線で、木野反地内の県道と河川の間に塙町の土地があり、今回、道路改良に伴う売払収入があるため。

Q 福島牛次世代型技術実証事業補助金の内容。

A（農林推進課）新しい視点を持った生産者の確保や生産体制を改革するため、肉用牛一環経営への転換や先端技術を活用した短期肥育実証に対する支援を行い、生産基盤の復興を目指すもの。

議案等の審議結果一覧表

No.1	議案第58号	**職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定** 福島県人事委員会勧告の内容に準拠し、職員の給与改定を行うため、当該条例の所要の改定を行う。　①給料表【増】 ②期末手当の支給割合【増】 ③勤勉手当の支給割合【増】 ④宿日直手当【増】	原案可決
No.2	議案第59号	**塙町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定** 福島県人事委員会勧告の内容に準拠し、任期付職員の給与改定を行うため、当該条例の所要の改定を行う。①特定任期付職員および一般任期付職員給料表の改定　②特定任期付職員の期末手当支給割合の改定。	原案可決
No.3	議案第60号	**塙町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定** 上位法律である「子ども・子育て支援法」の改正により、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No.4	議案第61号	**工事請負契約の締結** 塙町役場庁舎建設第Ⅱ期工事について議会の議決を求めるもの。契約の方法は条件付一般競争入札で、契約の金額は2億5850万円。契約の相手方は藤田建設工業株式会社　代表取締役　内藤　勇雄	原案可決
No.5	議案第62号	**令和6年度塙町一般会計補正予算（第7号）** 歳入歳出それぞれ3918万円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ68億9414万円とするもの。歳入では、町税を定額減税の実績ならびに申告実績等による見直し。歳出では、人件費の補正をするとともに、事務事業の精算を行ったものが主な内容。	原案可決
No.6	議案第63号	**令和6年度塙町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）** 歳入歳出それぞれ4458万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億7369万円とするもの。歳入で県支出金・繰入金を、歳出で総務費・保険給付費・基金積立金・諸支出金を補正。	原案可決
No.7	議案第64号	**令和6年度塙町介護保険特別会計補正予算（第2号）** 歳入歳出それぞれ71万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ13億513万円とするもの。歳入で繰入金を、歳出で総務費・保険給付費・地域支援事業費を補正。	原案可決
No.8	議案第65号	**令和6年度塙町上水道事業会計補正予算（第2号）** 第3条の収益的収入および支出の予定額、第4条の資本的支出の予定額、第7条に定めた経費の金額について、それぞれ補正するもの。	原案可決
No.9	議案第66号	**令和6年度塙町下水道事業会計補正予算（第2号）** 第3条の収益的収入および支出の予定額、第4条の資本的収入の予定額、第7条に定めた経費の金額、第10条に定めた処分額について、それぞれ補正するもの。	原案可決
No.10	議案第67号	**議会議員の議員報酬、期末手当および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定** 議員の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を県に準拠して改正。年3.25月→年3.35月。令和6年12月支給の期末手当を0.10月分増額。令和7年度以降の支給割合は、6月および12月支給分に均等に振り分ける。	原案可決
No.11	議案第68号	**町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定** 町長等の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を県に準拠して改正。年3.35月→年3.45月。令和6年12月支給の期末手当を0.10月分増額。令和7年度以降の支給割合は、6月および12月支給分に均等に振り分ける。	原案可決

一般質問

町政を問う

P8

・人手不足
・行政職員数
・営農継続の支援、新規就農の喚起策
金澤太郎（かなざわたろう）議員

P9

・塙町地域経済活性化事業
・消防団員の処遇改善策
・少子化対策
・エール商品券
吉村守広（よしむらもりひろ）議員

P10

・移住住民への町当局の対応
・デマンド交通
・最高齢医師への感謝状
・草刈機購入の補助金
・町長選挙公約(エール券)
・塙小学校の授業環境
小林達信（こばやしたつのぶ）議員

P11

・自立型ケアハウス
・タクシー無料券1.5倍
・デマンド交通
・湯遊ランドはなわ
・白河実業高校塙校舎
青砥與藏（あおとようぞう）議員

P12

・県立石川支援学校関連
・水道設備の耐震化
・災害時の支援、ヘリポート
堀江祐司（ほりえゆうじ）議員

P13

・町民からの声について町の対応
・次年度予算編成および働き方改革等
・町立小学校のあり方
吉田克則（よしだかつのり）議員

P14

・町の教育行政の今後の方針
・職員へのカスハラ対策
・脱炭素先行地域計画
・「103万円の壁」見直し
菊地哲也（きくちてつや）議員

P15

・防犯カメラ
・塙町地域振興事業交付金
・携帯電話の不通地区
・湯遊ランドはなわ
鈴木元久（すずきもとひさ）議員

P16

・町の健診
・町の諸課題全般
・はなわの秋祭り
七宮広樹（ななみやひろき）議員

一般質問用
ＱＲコード

スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでＱＲコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

質問

人手不足をどうとらえるか

答弁

最適な手法を模索し対応する

金澤（かなざわ）　太郎（たろう）議員

人の確保を！

質問　サービス業の人手不足解消制度はあるか。

答弁　特定地域づくり事業協同組合制度があり、4名の発起人が必要。町は発起人になれない。

質問　農業1日バイトの説明会があった。労災保険がネックになる。簡便な保険の紹介なども必要と考えるが。

答弁　町としてもどう動けるか検討していく。

質問　個人事業主の事業継承の手段はあるか。

答弁　福島県事業承継・引継ぎ支援センターが郡山市にある。事業継承に関するあらゆる相談を、無料で対応してもらえる。

質問　特定地域づくり事業協同組合制度や地域おこし協力隊を複合的に運用できないか。

答弁　地域おこし協力隊が事業継承と結びつくことを視野に入れている。隊卒業後、したい仕事をしながら特定地域づくり事業協同組合に参加し、他業種に勤めることも可能と考えている。

質問　地域おこし協力隊などの3年経過後、定住初期への補助制度の準備はあるか。

答弁　町内での起業・事業継承につき、補助対象の10分の10以内、上限100万円の支援制度がある。

質問　役場職員の副業禁止の解除の考えは。

答弁　役場職員の副業は許可を受ければ可能。完全禁止ではない。市町村の主要産業や社会貢献活動について、副業緩和をする自治体が出てきている。緩和を行った自治体では、対象事業者から職員がなぜ来てくれないという問題も発生している。検討を重ねていく。

就農者不足の原因は

生活が安定しないこと

質問　離農者増、就農者不足の原因は何があると考えているか。

答弁　農家を本業として生活が安定しないことが原因。農業で食べていける環境を国がつくることが必要。

質問　農業収入保険の町内加入状況は。

答弁　18件の加入。597名中3%の加入。

質問　農業収入保険の助成制度を導入する考えがあるか。

答弁　ぜひ検討を加えていきたい。

行政職員数は適正か

行政サービスの満足度による

質問　デジタル化の推進で役場職員数を縮減できるか。

答弁　公的証明書のコンビニ交付など、業務量の縮減になると考える。しかし、人員数の縮減に直結できるものではない。事務効率は上がるので、人員配置の効率化には資する。

質問　国や県の補助事業を町に呼び込むなどの創造的な業務執行に対し、人員数は適正か。

答弁　住民サービスが満足されているなら適正、満足されていないなら人員不足。市と比較するとわかるが、人員が多ければ専門的に詳しく取り組めることが多くなる。こういう取り組みの差が行政サービスの差となって現れる。

質問　町職員への応募者が増える環境づくりとして、カスタマーハラスメント防止条例をつくる考えがあるか。

答弁　カスタマーハラスメント対応要綱を作成し、庁舎内で対応予定。カスタマーハラスメント防止条例となると、町全体に波及するため、事業者などの理解醸成後に作成する流れとなる。

質問

塙町地域経済活性化事業の詳細は

答弁

観光交流人口の増加を目指す

吉村（よしむら）　守広（もりひろ）議員

5年、10年先を見据えた施策を

質問　委託先は。

答弁　塙町地域創生事業推進協議会（観光協会）、（財）宿泊施設活性化機構（JALF）である。

質問　概要と目指す効果は。

答弁　期間は3年間である。観光の広報発信を食の観点から活発に行い、四季折々の「里山産品イベント」を開催し塙町の認知度を向上させ、塙町往訪につなげる。そして、観光客数の増加と観光消費額の増加により地域産業を活性化することで、生産年齢人口の働く場を創出し、最終的に人口減少を抑制するとともに移住定住者の増加を目指す。今年度は湯遊ランドを中心に実施予定だが、他の宿泊施設とも連携を図っていきたい。

少子化対策として移住定住は

検討する

質問　今年の議会報告会は、10月30日に笹原地区公民館で「少子化対策について」をテーマに開催した。その中で、議員から移住定住策を進めてはという意見が出た。若い世代の移住定住を積極的に受け入れる体制整備として、住宅団地の造成や安価でコンパクトな住宅を提供し、何年か住み続ければ無償で払い下げるような施策は。

答弁　少子化問題や人口減少問題は、町にとって大きな課題である。町の先々を考えると、さくらタウン末広のような住宅団地の造成や賃貸住宅の建設は立派な先行投資だと思うので、検討していく。

消防団の新入団員の確保状況は

厳しい状況である

質問　新入団員の確保状況は。

答弁　厳しい状況なので、9月の定例会で団員定数を現状に合わせて320人に条例改正した。

質問　家族の理解を得るために、町内での買い物時にポイントなどの支援は。

答弁　検討したい。また出動時には休業補償としての手当も考えていきたい。

質問　少ない人員でも消火活動ができるような装備品の配備は。

答弁　常備消防のようなプロの装備までではないが、安全に消火活動ができる装備品を配備したい。

地域防災の要　消防団

エール商品券はいつ

来年度には実施予定

質問　エール商品券はいつごろ実施予定か。

答弁　これまで、コロナ関連の交付金等を使って実施してきた。券の印刷など準備もあるので今年度は難しいが、国会での情勢を見極めながら来年度早々には実施したい。

質問 移住してきた住民への対応

答弁 強制できない

小林（こばやし） 達信（たつのぶ）議員

教育委員会が
全力で対応してほしい

質問 塙町に移住してきた住民への町当局の対応は。常会に入らない、区に入らないと各区で困っている。

答弁 町当局では対応できない。強制できない。

最高齢医師に町から感謝状を

条例に照らして対応したい

質問 町最高齢の医師に、町から感謝状を出さないか。

答弁 表彰条例に照らして対応したい。

肩掛け式草刈機購入に補助金を

他自治体の動向を調査する

質問 草刈機の購入に対して補助金を出せないか。

答弁 県内や周辺自治体の動向を調査し、研究する。

デマンド交通は

来年度、軽自動車２台・週５日運行

質問 一部地区で始まった乗り合い自動車（デマンド）はどうなっているのか。

答弁 来年度から、軽自動車2台・週5日運行させる。買い物にも対応する。

エール券の発行は

今年度は難しい

質問 町長選挙公約（エール券）について、多くの町民が待っているが。

答弁 今年度の発行は難しい。公約は、実行するために努力する。

質問 公選法違反にならないか（買収）。

答弁 そうは思っていない。

令和５年度に実施したエール券

塙小学校の授業環境は

教員の欠員が多い状況

質問 塙小学校の授業環境はどうなっているか。

答弁 先生の欠員が多く、校長や教頭も授業を行っている。

質問 落ち着いて授業を受けられない児童はどのような状況なのか。

答弁 子どもたちをしっかり指導し、保護者を校長室に呼んで話をしているが、なかなか改善しない状況。

質問 宮田町長の選挙公約の意味付け

答弁 約束であり「事業の方向や夢」

青砥（あおと） 與藏（ようぞう）議員

一諾千金（いちだくせんきん） 尾生の信（びせいしん）

質問 公約は、必ず実施する事業との決意か。

答弁 公の約束だが、社会状況により変更することもある。

質問 自立型ケアハウス4カ所設置の事業計画は。

答弁 塙町振興計画で、令和9年にC型ケアハウスの4カ所施設整備計画している。

質問 令和9年だと任期最後の年になり、計画の完了ができないのではないか。

答弁 現在、亀宗跡地を利用している団体が移動後に解体し、高齢者基幹施設整備事業の基本計画など内容の検討をしたい。

質問 タクシー利用券を1・5倍、ひとり暮らし36000円→54000円、ご夫婦（1人当たり）24000円→36000円にするということだが、事業計画は。

答弁 公約は約束や宣言であり、できるだけ具体的にすることで、候補者の責任は重く問題はない。むしろ、概念的な言葉の連呼より、しっかりとしたビジョンが必要である。

質問 議会の審議がない中で、具体的金額を提示する行為は議会軽視と思うが。

答弁 あくまでも施策であり、議会で審議されて予算決定する。提案権はあるが、決定権は議会にある。

デマンド交通の今後の事業計画

ライドシェアも含め継続したい

質問 今年7月より、田代地区においてデマンド交通の実証実験運行が行われた結果と、今後の事業計画は。

答弁 軽自動車での週2日・2便運行は、利用者から好評であった（少ない定員数なので自由度が高く、病院・買物等予定どおりにできた）。来年度は、ライドシェアも含め継続したい。

質問 デマンド交通の実証実験は、すでに20年を超えると思う。地に足のついた事業を考えることが期待される。成果が出るための考えは。

答弁 公共交通活性化協議会や既存の事業者などと協議の上、継続的な事業にしたい。

ライドシェアとは
一般ドライバーが、自家用車で乗客を有償で運ぶサービス。

湯遊ランドの今後の事業改善計画

ホテル櫂会（かいえ）の協力を得て進める

質問 湯遊ランドへの支出は、町民一人当たり1万円の支出である。町民割など微々たるもの、赤字解消できないならできるだけ早く整理すべきである。湯遊ランド運営が厳しい状況であるが、今後の事業改善計画は。

答弁 経済的な面だけでいえるものではなく、葛飾区・練馬区・江戸川区など都市との交流の場であり、「ホテル櫂会」の協力を得て経営改善を進めていく。

経営改善が求められる湯遊ランドはなわ

白河実業高校塙校舎閉校後の活用

町民による利用検討委員会で協議

質問 校舎の再利用検討会計画は。

答弁 全ての建物を解体し、その後の対応は、町民による利用検討委員会をつくっていただき、その協議内容を見届けたい。

一般質問

質問 塙町に県立支援学校の分校新設を

答弁 実現に向け、強く要望していく

堀江（ほりえ） 祐司（ゆうじ）議員

Positive action
～前向きな行動～

質問 福島県立石川支援学校の分校を、塙町の地の利を生かした敷地に新設できないか。

答弁 特別支援学校の設置は、郡内の教育長が連名で福島県教育長へ毎年要望書を提出している。必要性は認めつつ、建設経費や学校へ配置する教職員不足などハードルがあり、実現に至っていない、引き続き働き掛け、県立支援学校を設置できるよう努力していく。

質問 塙町の教育施設内に、支援学校の教育支援教室的な学級の設置はできないか。

答弁 何とか実現したい思いはある。施設の活用は空き教室があれば可能と思うが、支援学校の分室となり福島県が運営することになる。県立石川支援学校塙分室的になるかと。非常にハードルも高い。教職員も福島県教育委員会所属となり、そのため、さまざまな教材等、県の予算の関係もある。実現の可否を含め、要望を強く働き掛けていく。

福島県立石川支援学校

水道設備の耐震化整備は

さらに計画整備を進める

質問 塙町の災害拠点施設・建物に接続する水道管路の耐震化の現状は。

答弁 塙町の上下水道管路の耐震化は48％で、全国平均の42・3％を上回る。

質問 福島県の耐震化整備状況は、令和5年時点27％。塙町の一般住宅等の整備状況の現状は。

答弁 町全体の水道管耐震化率は38・2％、県の27％を上回っているが、計画を立て整備を進める。

質問 未整備の解消はどのように考えているのか。国の補助はあるのか。

答弁 上下水道事業の整備等は使用料で賄うのが原則であり、難しい現状。国の補助はあるが、水道供給単価が全国平均以上でないと補助は難しい。（塙町は水道料金が安いため）

万が一の災害対策のために

無災害を常に願う

質問 現在の久慈川河川敷のヘリポートは、水害が起きると使用不可となる状況は想定しているのか。

答弁 想定はしている。地域防災計画で、塙町は7カ所の仮設ヘリポートが定められている。

質問 広域4町村の中心的機能として、令和7年3月に閉校する旧塙工業高校跡地に、ヘリポートの設置を。

答弁 地面がしっかり整備された、ヘリコプターの浮力・揚力を保つヘリポートを計画に入れていきたい。

質問 塙町の災害時における飲料水・食料・寝具などの最低備蓄状況は。

答弁 B&G財団からの支援で、防災倉庫の設置や資機材の配備を実施。町単独ではあるが、備蓄状況はしっかりある。食料品は消費期限等があるので、定期的に入れ替え等をしている。

一般質問

質問 町民からの声対応は

答弁 苦情を強く指導した

吉田（よしだ） 克則（かつのり）議員

皆さんからの声、質問の励みになります!!

質問 町民からの声、新型コロナウイルスワクチン接種助成希望者に。

答弁 国からの支援指示等があれば従って粛々と進めていく、国県の動向を見た上で判断したい。

質問 役場新庁舎の窓口案内、来客者対応は。

答弁 総合窓口はあってもよいのではと思っている。このあとセッテイングしたい。

質問 「湯遊ランドはなわ」指定管理者に対する苦情対応や指導は。

答弁 町振興公社と毎月定例会で情報共有を図っている。苦情があった場合、報告はもちろん対応はしている。強く指導した。

次年度予算規模は

経済状況悪化させない方向で

質問 次年度予算編成に伴う課題や重点施策、予算規模についての考えは。

答弁 安定予算規模は50億程度とふんでいる。町の経済状況を悪化させない方向で進めていくことが基本である。

質問 町職員の雇用実態と働き方改革等考え方は。

答弁 町が必要とする人材、労働力を雇っている。

質問 公益通報のあり方は。

答弁 町では要項の整備を行っている。令和7年4月1日の施行を目指し策定する。

代官町にあった塙町役場入り口と庁舎

町立小学校のあり方は

子どもたちの環境づくり

質問 町には塙、笹原小学校があるが各校の入学者、在校生の状況は。

答弁 令和6年度入学者塙小学校54名、笹原小学校4名。在校生塙小学校292名、笹原小学校31名。令和7年入学者見込み塙小学校32名、笹原小学校3名。

質問 少人数学級は、子どもたちの健全な集団生活を学ぶ場としては問題と思うが。

答弁 ほかの学校との交流などを進めることで、人間性を学ぶという部分をフォローできればと思っている。

質問 町として小学校のあり方、方向性を示す時期と思うが考えは。

答弁 全国的なことであり、解決策を打ち出せる状況ではない。子どもたちのための環境づくりを考えていきたい。

質問 塙町の教育現場の現状は

菊地（きくち） 哲也（てつや）議員

教育は国家100年の計

答弁 教師が足りない

質問 軽度の困難さを持った児童、生徒のために通級指導教室を設置できないか。

答弁 対象となる児童、生徒が14名にならないと設置できない。

質問 始業式、終業式、通知表が1つ減る2学期制の検討は。

答弁 今のところ検討していない。

質問 現在、教師の超過勤務は。

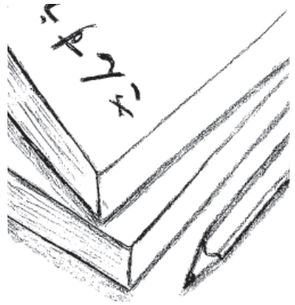
答弁 令和6年10月、1カ月で最高84時間の超過勤務。

質問 小学校の教科専門科目制の充実の検討を。

答弁 専科制は県も進めている。しかし先生が足りない。

質問 春の教員人事で県への要望は。

答弁 第一に教員の補充を要望している。



町職員へのカスハラ対策は

防止対策の要領を作成している

質問 町職員へのカスハラの現状は。

答弁 過剰な接遇要求、暴言、応対3時間、スマホでの職員撮影などがあった。

質問 具体的な対策は。

答弁 カスハラ防止対策の要領を警察とも相談し作成している。具体的には、防止対策ポスターの掲示や、名札を名字のみ・ひらがなとするなどの案がでている。

カスタマーハラスメントとは
顧客や利用者からの迷惑行為や悪質クレーム。

脱炭素への今後の取り組みは

町民との合意形成を目指していきたい

質問 脱炭素先行地域募集計画書が不採択となったが。

答弁 事業により費用対効果性、電力需要による地産地消率、地域住民、関係者、議会等の合意形成を確実にするとの講評があった。また、募集の如何に関係なく脱炭素への取り組みの構築を望むとしている。

質問 Jクレジットへの参加検討は。

答弁 塙町は森林分野に強みがある。先行事例を研究し、参加の可能性を探っていきたい。

「103万円の壁」見直しについて 町財政への影響は

大幅に減収する見込み

質問 現在、国で「103万円の壁」見直しの議論が続いている。手取りが増え恩恵を受ける町民が多いと思うが、町の税収への影響は。

答弁 給与所得控除が現行55万円、基礎控除75万円引き上げて123万円、合計178万円とし住民税も同様の基礎控除とした場合、塙町においては、合計1億2240万円の減収が見込まれる。大変な減収であり、このような事態となれば、国へ働きかけ町財政への影響を減らしていく。

質問 カメラ付き防犯灯は

鈴木（すずき） 元久（もとひさ）議員

町民の皆さまの
安全・安心で豊かな暮らしを！

答弁 6年度末までに20台設置予定

質問 記録画像の管理は。

答弁 町役場で集中管理できるものではないが、事件・事故があった際は、近隣の防犯カメラからSDカードを外して再生・確認する。

質問 個人的に防犯カメラを付けたい人がいるが、補助金は。参考までに、カメラ1台7インチのモニターで工事費を含め7万円から8万円。カメラ2台では12万円から13万円。カメラ4台では30万円くらい。

答弁 原則として補助金制度はない。セキュリティーの専門的知識者で、設備士の資格を有する者が設置すれば、補助金の支給があってもよいかと思う。

質問 警察署からの補助金制度は。

答弁 町内会などの団体に50万円が限度で、2分の1が団体で負担。予算は500万円、令和6年度は終了している。

塙町地域振興事業交付金 6年度に終了する団体は

もみじを育てる会など10団体

質問 団体名は。

答弁 久慈川河川敷花壇整備事業、久慈川菜の花会、ハスの会、里山再生プロジェクト、もみじを育てる会、花咲く華の会、湯岐環境整備、前田区環境美化事業、背戸山樹楽会、桜窪の会

質問 令和7年度以降は。

答弁 事業内容が審査基準を満たしていれば、継続することも可能。

質問 国県の補助金は。

答弁 県のサポート事業の方が適している場合は、補助金制度がある。

湯遊ランドはなわ 従業員不足と聞いているが

ハローワーク、ネット等 さまざまな方法で募集

質問 地方創生交付金の目的は。

答弁 観光、宿泊客等に対するマスコミのPR、また、新聞でイベント等の紹介。

質問 塙町地域創生事業推進協議会のメンバーは。

答弁 観光協会より4名、宿泊活性化機構より2名の合計6名。

質問 期間と金額は。

答弁 3年間で1年目3360万円。

質問 理事の給与は。

答弁 協議会に委託している。

質問 監査は誰がしているのか。

答弁 観光協会より1名。

町の携帯電話不通話エリアは

那倉字長谷地・大平・鳩ノ宮など

質問 町の携帯電話不通話エリアは。

答弁 那倉字長谷地・大平・鳩ノ宮、片貝字前枝木・長久木、田代字久保田・入猿畑・明部、東河内字一本木、真名畑字井戸沢・鎌田・品平、大蕨字折篭・鞍掛・下り藤、植田字松林。

質問 塙大津港線（川辺～下り藤）約5キロの区間が不通話エリア。サイクリングコースになっているが、電波塔の設置は。

答弁 不通話エリアとして、県を通して国に報告をしている。

携帯電話の電波塔

一般質問

質問 町の総合健診について

答弁 受診環境整備に努め、実施していく

七宮（ななみや） 広樹（ひろき）議員

健康が一番です！

質問 以前は各地区へ出向き健診が行われていたが、コロナ禍で塙農村勤労福祉会館を使っている。今後の健診場所の考えは。

答弁 総合的に判断し、今後も塙農村勤労福祉会館で実施したいと考えている。

質問 希望者には無料送迎バスを運行しているが、今後の運行の考えは。

答弁 今後も受診機会の確保に努めていく。

質問 新たな取り組みとして健診受診録が電子化され、タブレット問診が実施されたが、タブレットに慣れていない方や高齢者には、紙の問診とは違った入力リズムや、その場の雰囲気で入力ミスにより、誤情報を発信する懸念があるが、今後の対応策は。

答弁 問診の入力補助を丁寧に行い、安心して受診ができる環境づくりに努める。

質問 健診をさらに充実させる取り組みとして、検査項目の追加や、認知症に関わる検査の実施などの考えは。

答弁 町民のニーズなども踏まえた支援を検討したい。

町の健診の様子

消防団員の確保に、女性団員の加入を

女性に配慮した屯所整備は、検討していく

質問 地域を守る思いは、男性・女性を問わず同じであり、女性の視点で活躍する場もある。現在、塙町消防団でも少数であるが、女性団員が入団し活躍している。ぜひ、これからの塙町消防団には、女性団員の加入を視野に入れ、女性に配慮した屯所の環境整備にも取り組むべきでは。

答弁 総合的に判断し検討していく。

次回の「はなわの秋祭り」の計画は

検証しつなげていく

質問 11月3日、役場駐車場で開催された「はなわの秋祭り」の手ごたえと、町民からの反響や要望の声は。

答弁 にぎやかに開催できたと思っている。出羽神社例大祭と同日であり、秋祭りと迫力ある大寄せが一緒に体験でき良かったとの声を聞く。

質問 今回は、役場駐車場で開催されたが、次回のはなわの秋祭りの開催時期や開催場所は。

答弁 実行委員会で検討していく。

質問 水郡線全線開通90周年の鉄道博イベントのように、塙町役場の「はなわホール」・磐城塙駅の「塙町コミュニティプラザ」・塙農村勤労福祉会館を使用し、農産・林産・畜産をはじめ、伝統文化・芸術・演芸を含めた総合的なにぎわいの展開につなげる考えは。

答弁 従来からの文化祭・芸能祭との兼ね合いを含め、実行委員会で検討したい。

追跡レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

カメラ付き防犯灯の設置場所は
（令和２年９月定例会）

平成30年にカメラ付き防犯灯が設置されているが、その場所は。また、どのように運用しているのか。

答弁

塙小、旧常豊小付近などに設置

塙小付近に２基、旧常豊小付近、釜藤付近、川上、森ノ根、坂ノ下に各１基。32ギガのＳＤカードから今後64ギガに増やす予定。その後、警察署と協議し５カ所に設置予定。候補地として、那倉高柴地内、湯岐干泥地内、台宿地内、末広町地内、材木町地内。

その後

令和６年度末　20基を設置予定
（令和６年12月定例会）

場所の詳細は示されなかったが、通学路付近に設置される予定。

公共交通の空白地帯の対応は
（令和６年３月定例会）

本年度予算120万円で実証実験を３カ月行うとなっているが、公共交通の空白地帯の事業計画を伺う。

答弁

実証実験を行う

持続可能な公共交通の再構築のため、令和６年度・田代地区において公用車の軽自動車を利用したデマンド交通の実証実験を行う。状況を見ながらエリア拡大を検討していく。

その後

週２便の運行を実施した
（令和６年12月定例会）

運行期は、シルバー人材センターとの契約にて、令和6年7月8日～11月29日・週２便の運行を行い、利用者延べ53名、経費総額232,994円であった。今後は、3名の乗り合いができる軽自動車での対応を検討していきたい。

ひとことインタビュー

令和６年12月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。

深谷（ふかや）　春江（はるえ）さん（大町）

安心して暮らせる塙町になるよう、議員活動をお願いしたい

―傍聴したきっかけは

民生児童委員協議会女性部会の活動で、部員10名が初めて傍聴しました。一人では敷居が高く足も遠のきますが、各種団体やサークルで傍聴するのも良いと思います。

―傍聴した感想は

議会だよりでは読み取れない町と議員との質疑応答は、大変興味深い体験となりました。部員の感想も、また傍聴したいという声が多く聞かれました。「エール券」「湯遊ランドはなわ」の質問は多数の議員の質問事項に入っていて、私たち町民も気になる案件だったと思います。

―議会に対する意見や要望

民生児童委員は、月に一度の定例会での協議を行い、研修会・視察・ボランティア・小中学校との情報交換などを通し、心配ごとや支援事項を行政や関係機関への「つなぎ役」として日々活動しています。議員の皆さまには、町民・地域の人々の声を拾い、赤ちゃんから高齢者まで安心して暮らせる塙町になるよう、議員活動をお願いします。

―町に対する意見や要望

民生児童委員の定例会で、町への改善の意見や提案が上層部まで届いていないのが気になります。より良い民生児童委員の活動のためにも、少しでも受け入れてほしいと思っています。

物価が大変高騰しています。行政サービスを充実させて安心して生活が営めるような町政をお願いします。

10月 臨時会のあらまし

令和６年10月21日、第７回臨時会（会期１日間）が午前10時より開会されました。町長専決１件と議案１件の審議を行い、全会一致で原案可決となりました。

一般会計補正予算を専決処分

【主な内容】

衆議院議員総選挙の実施に伴い、同選挙の執行に必要な予算を確保。歳入歳出それぞれ７４０万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ68億７６８万円とするもの。

庁舎改築関連予算を増額補正

【主な内容】

役場庁舎改築事業の継続費❷総額、ならびに令和６年度・令和７年度の年割額を増額するとともに、令和６年度で支出予定とする前払金相当額を予算化し、その財源となる地方債の補正をするもの。歳入歳出それぞれ４７２８万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ68億５４９６万円とするもの。

役場庁舎改築事業

- **補正前の継続費総額**　18億６２００万円
- **継続費補正額**　１億６１００万円
- **補正後の継続費総額**　20億２３００万円

❷**継続費**・・・単年度では支出が終わらない数年間にわたる事業について、あらかじめ経費の総額および年割額を定め支出するもの。

質疑（補正予算）

Q 役場庁舎建設に係る予算は、今後も補正予算は発生するのか。

A 今回の補正で、役場改築事業は完了となる。

Q 減債基金❷の残高全てを庁舎建設費用に充てるのはいかがなものか。

A 最近の金融情勢を見ると、利率が上がっている。借り入れをすると利息がかなり高くなると思われる。基金を使うことにより、借り入れを抑えていく考えである。

❷**減債基金**・・借金の返済のために必要な資金を積み立てている制度

議会のできごと

議員としての見識を高める

福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が10月25日、ビッグパレットふくしま（郡山市）で開催され、全議員が参加しました。県内の町村議会議員が参加する研修会で、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏による「岐路に立つ議会改革―ポストコロナと集権化の中で―」、ジャーナリスト、ニュースキャスターの星　浩氏による「今後の政局・政治展望」についての講演があり、意義ある研修会となりました。

議会・議員活動につなげます

課題解決に向けた方策を見いだす

福島県町村議会議長会および東白川地方町村議会議長会主催の地方自治研究交流セミナーが11月26日、新富家（棚倉町）で開催され、郡内の町村議会議員が参加しました。福島大学経済経営学類准教授の藤原 遥氏による「住民ニーズと地方財政」の講演、ディスカッションが行われました。今後も、郡内で情報や知識を共有し、議会の活性化につなげていきます。

８年ぶりの開催となりました

所管事務調査レポート

総務常任委員会

職員の働き方改革

・調　査　日　令和6年10月29日(火)
・場　　所　委員会室
・出席委員　菊地哲也委員長
　　ほか委員全員(計7名)

・調査のまとめ

働き方改革、長時間労働の是正や非正規雇用労働者の処遇改善など労働制度を改善する施策。組織全体の生産性向上、雇用安定、社会全体の健康的な生活を送るために不可欠な取り組みである。少子高齢化の進む日本において今後、深刻な労働力不足に陥ることが懸念され、働き方改革に猶予はない。

塙町職員においては、年休取得の向上、男性職員の育児休業取得への取り組み、金曜日をノー残業、ハラスメント防止研修の取り組みをしているが、社会情勢の変化により行政が対応すべき課題が複雑化・多様化し、職員の負担が大きい。一般行政部門は令和2年度75人、令和5年度68人と減少。人員不足による業務量は増加。また、ITの導入は業務効率化のメリットはあるが、セキュリティリスクの高まり、デジタル化への浸透度合いの新たな課題もある。

課題を解決し、働き方改革を進める困難はあるが、職員が高い貢献意欲や「やりがい」を持てる環境をつくっていかなければならない。さらに今後厳しくなると思われる職員採用も、大変重要な施策と思われる。

経済常任委員会

橋梁（きょうりょう）点検の状況と今後の計画

・調　査　日　令和6年10月30日(水)
・場　　所　委員会室
　　および現地
・出席委員　鈴木元久委員長
　　ほか委員全員(計6名)

・調査のまとめ

現在、町道の橋梁は108橋あり、総延長228，980・2㍍である。交通路を連絡するために大きな役割を果たしている。橋梁点検は、道路維持管理業務の一環として管理する。常に橋梁を良好な状態に保全し、安全かつ円滑な交通を確保することと2㍍以上の橋梁やトンネル等は国が定める統一的な基準により、5年に1回の頻度で点検が義務付けされ、橋の全ての箇所に手が届く距離まで近付き、目視あるいは点検用ハンマーで叩くなどして、ひびわれや損傷を確認する近接目視が基本となっている。今後、職員が点検できる体制実現を目指していると説明を受けたが、設計など専門的に学んできた職員ではないので、補修・改修計画を立てていくことになった場合、点検実施主体となることは検討すべきと思えた。

建設後50年を経過した橋梁の割合は現在42・7％、10年後は67・1％、20年後は86・6％に増加する。全国的に、老朽化橋梁は加速度的に増加している。当町の補修計画はきちんと精査され、町道の安全確保に努めていることが確認できたが、今後も引き続き安全の確保に努めてほしい。

予算決算常任委員会

塙町振興計画の審議

計画期間：令和7年度から令和9年度

・調　査　日　令和6年11月28日(木)
・場　　所　議場
・出席委員　七宮広樹委員長
　　ほか委員(計12名)
　　※議長は職務出席
・説　明　員　町長、教育長、
　　各課等の長

1．調査の結果

個別事業計画について、説明員から概要説明を受け計画案全般を了承としたが、事業継続の必要性や対象者の見直し等を十分精査した上で、効率的かつ効果的な行政運営ができる予算計上を望む。

2．主な質疑（抜粋）

Q　公民館・地区館・分館LED照明設備リースだが、買取リースにするのかどうか。どのように計画しているのか。

A　リースは10年契約で考えている。期間終了後は、無償で受け取ることができるという内容である。

Q　高齢者基幹施設整備事業は、どのような基幹施設を考えているのか。

A　具体的にはこれから検討ということになる。現在の構想では、社会福祉協議会、シルバー人材センターの事務局と、高齢者の体力向上、健康維持相談窓口、簡単な器具など置けるホール等、高齢者支援機能を十分に備えた形での高齢者支援基幹施設、ケアハウスも含めて検討していきたいと思っている。

Q　デジタル田園都市国家構想交付金事業。地域経済活性化事業業務委託について、委託先はどこか。

A　塙町観光協会と一般財団法人宿泊施設活性化機構の2団体で構成する塙町地域創生事業推進協議会を10月に結成し、そちらに委託する。

Q　デマンド交通だが、中山間地をもう少し考えていった方がいいのではないか。

A　当面先行投資が少ない役場の公用車を使って運転手をお願いし、どのような組み合わせにするのかを考えながら、中山間地については、デマンド交通で予約を取ってお迎えに行くようなシステムをつくりたいと考え計画したところである。

Q　高齢者外出支援タクシー料金助成事業だが、平坦地・山間地に住んでいる方、同一金額だと不公平感があるのではないか。

A　デマンド交通や既存のバスなど、いろんなものを組み合わせて交通弱者を救っていこうと考えている。タクシー事業については、サービスの公平性、どこに住んでいても同じ金額の補助を受けられるということ。令和7年度から1・5倍で積算している

Q　1人当たり2万円のエール券、公約として掲げて、計画の令和9年度までには記載がないが、なくていいものなのか、逆に計画に入れられないのか。

A　計画をしているが実施時期が今定まっていないので、振興計画には記載していない。今政府で支援策の中に盛り込みがあるという可能性が高いので、いつでも実施できるよう準備を進めている段階。

Q　道路整備事業・町道北野松岡線について、令和8年度で終わると理解していたが、令和9年度にずれ込むのか。

A　JR新踏切工事の事業費負担は令和9年度にずれ込むが、令和8年度末に開通する計画である。

活発な質疑が行われました

議会だより モニターさんの声

前回10月18日発行の議会だより168号に対する声を掲載します。

①表紙・裏表紙

・子どもたちの笑顔や頑張る様子は活気づけられる。

②2～9ページ(令和5年度決算､9月定例会)

・今、必要とされていることに予算を適切に利用していただきたい。
・教えてダリちゃん―財政用語の解説―が分かりやすくよかったと思う。
・上下水道事業の「高コスト低料金」。コスト高の原因追及と適正料金の見直しを。

③10～16ページ（一般質問）

・塙町の将来を考え、地域経済や地場産業の振興を後押しするような質問があるとよいと思う。
・今回の一般質問に、デマンド交通に関する質問があった。塙町は面積が広く、当然、山間部地域も奥深い。高齢者にとって交通の便が大切になるので、デマンド交通やタクシー券の増額を真剣に考えてほしい。
・町道交差点の件だが、まだまだ安全対策は必要に感じる。横断歩道が必要な所もあると思う。
・全体として、吹き出しには何を書くのか統一してはどうか。議員として大切に思うことなのか、町民に訴えたいことなのか。

④後半ページ

・総務常任委員会で審議された町税等の収納率は年々上向いているようであるが、この問題への対応策について各委員からどのような意見が出たのかも書いてほしかった。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

若い世代の関心

戸井田（といだ） 弥生（やよい）さん
（台宿）

今回モニターになり、議会だよりを読むようになりました。今までは正直興味もなく、読んだことがありませんでしたが、このような機会をいただき、目を通しているうちに少しずつ町政について考えるようになりました。このようなきっかけがなければ、考えようともしなかったと思います。

どうしても若い世代は関心が少なく、選挙にすら行かない現状です。まずは私の周りの同世代から、少しでも町づくりに関心を持ってもらえるように声掛けなどをして、私自身が誰かのきっかけになれればと思いました。子育て世代だからこそ、町政について疑問や不安などがたくさんあるはずです。その意見を一人一人が発信していくようになることが、より良い町づくりへつながっていくことだと思います。

さらなる少子化対策が必要

神永（かみなが） 睦子（むつこ）さん
（柳町）

来年度入学児を対象にした就学時健診に関わる機会がありました。来年度入学児は塙町全体で35名だそうです。びっくりしました。私の年代と比べると、十分の一ぐらいです。6校あった小学校も、今では2校になるわけです。塙町は、給食費が無料で、学童や第三の居場所づくり等で子育てしやすい環境だと思いますが、さらなる少子化対策が必要です。子育て経験がある女性や、今子育てをしている若い世代の意見や要望を取り入れながら、アイデアを生かした効果的な施策を求めます。

同時に、すぐには人口増というわけにはいかないので、限りある財源を有効に活用し、人口減に対応したコンパクトな街づくりも必要になってくると思います。議員の皆さんには、長期的な視点を持ってより良い塙町にする施策を期待します。

議会活動出欠状況

令和6年10月1日　～　令和6年12月31日

年月日	会議名称	堀江祐司	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	小林達信	藤田一男	下重義人	鈴木孝則
	委員会													
6.10. 4	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－
6.10. 9	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－
6.10.21	議会運営委員会(10月臨時会提出議案)	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○
6.10.29	総務常任委員会(所管事務調査)	○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	○	－	○
6.10.29	塙町議会基本条例検証調査特別委員会(検証・見直しの検討)	○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	○	－	○
6.10.30	経済常任委員会(所管事務調査)	－	○	－	○	－	○	○	－	－	○	－	○	－
6.11.28	予算決算常任委員会(塙町振興計画)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用遅参	○	○	○
6.12. 4	議会運営委員会(12月定例会運営)	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○
6.12.12	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	○	－	○
6.12.12	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	－	○	－	○	－	○	○	－	－	○	－	○	－
6.12.12	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－
6.12.16	議会運営委員会(追加議案)	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○
6.12.16	議会運営委員会(12月定例会検証)	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○
	定例会・臨時会													
6.10.21	10月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.12.12	12月定例会(1日目：議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.12.13	12月定例会(2日目：一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.12.16	12月定例会(3日目：一般質問、議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会													
6.10.17	全員協議会(塙町役場庁舎建設第Ⅱ期工事の説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.12. 6	全員協議会(令和6年度定期監査等結果報告 他)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	研修会・その他													
6.10.25	町村議会議員研修会(福島県町村議会議長会主催)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.10.31	議会報告会・意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傷病	○	○	○
6.11.26	令和6年度地方自治研究交流セミナー（東白川地方町村議会議員研修会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席　－該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。正当な理由の欠席の場合は忌引、傷病、事故、その他と表記しました。

みんないきいき　VOL. 63

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：はなわスポーツクラブ　スマイル(バドミントン)
活 動 場 所：町営体育館アリーナ
活　動　日：毎週火曜日
　　午前９時30分～午前11時30分
会　　員：20名

健康増進と親睦を図るためにバドミントンを

スマイルは、はなわスポーツクラブの中の１つで、バドミントンを楽しく行っています。会員は20名です。みんなで健康増進のために、和気あいあいと仲良くシャトルを打っています。

会員も募集していますので興味がある方は見学に来てください。初心者も大歓迎です。

みんなで楽しく活動しています

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年は元旦に能登半島地震がおき、大変な被害がでました。その後も、日本各地で自然災害の猛威を受け続けました。世界では終わりなき戦争が繰り返され、子どもたちは飢え、貧困に苦しんでいます。われわれ大人は何ができるのでしょうか。何をしなければならないのでしょうか。

令和７年は、穏やかでみんなが笑って過ごせることを願うばかりです。

菊地　哲也

あなたも議会を傍聴してみませんか

令和７年３月定例会は
３月11日(火)からの予定です。

場所　役場２階　議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後に
ホームページ等でお知らせします。

広報常任委員会

委員長　吉田　広明
副委員長　吉村　守広
委員　鈴木　元久
委員　菊地　哲也
委員　金澤　太郎
委員　堀江　祐司

発行者　塙町議会議長　鈴木孝則
編　集　議会広報常任委員会

〒963-5492 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21
TEL 0247-43-2150　FAX 0247-43-2116
URL https://www.town.hanawa.fukushima.jp/
E-mail gikai@town.hanawa.fukushima.jp